

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成26年6月28日

都道府県知事 殿

提出者

住所 兵庫県神崎郡市川町神崎769

氏名 三菱マテリアル建材(株) 市川工場

電話番号 0790-28-0212



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三菱マテリアル建材(株)市川工場
事業場の所在地	兵庫県神崎郡市川町神崎769
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	2123 コンクリート製品製造業
② 事業の規模	製造品出荷額 193,163万円(平成25年実績)
③ 従業員数	46人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図)		
別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
① 現状	【前年度（ 24 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t t
	(これまでに実施した取組) 製品寸法に近い製造をして、端材を少なくする。再生原料への量を増や、産廃量を減らす。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t t
	(今後実施する予定の取組) オーダー注文なので、難しいところはあるが、より多くの定尺の製造を行なう。また、端材の利用方法を検討して、少しでも廃棄物発生を削減する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内の保管場所をガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック、廃油の3区画の分け、各部署からの廃棄物を分別して保管している。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、分別回収を推進して、廃棄物の削減に努める。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用を増やして、産廃を減量した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も再生利用を増量するため、配合を検討する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 状	【前年度（ 24 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状	【前年度（ 2 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

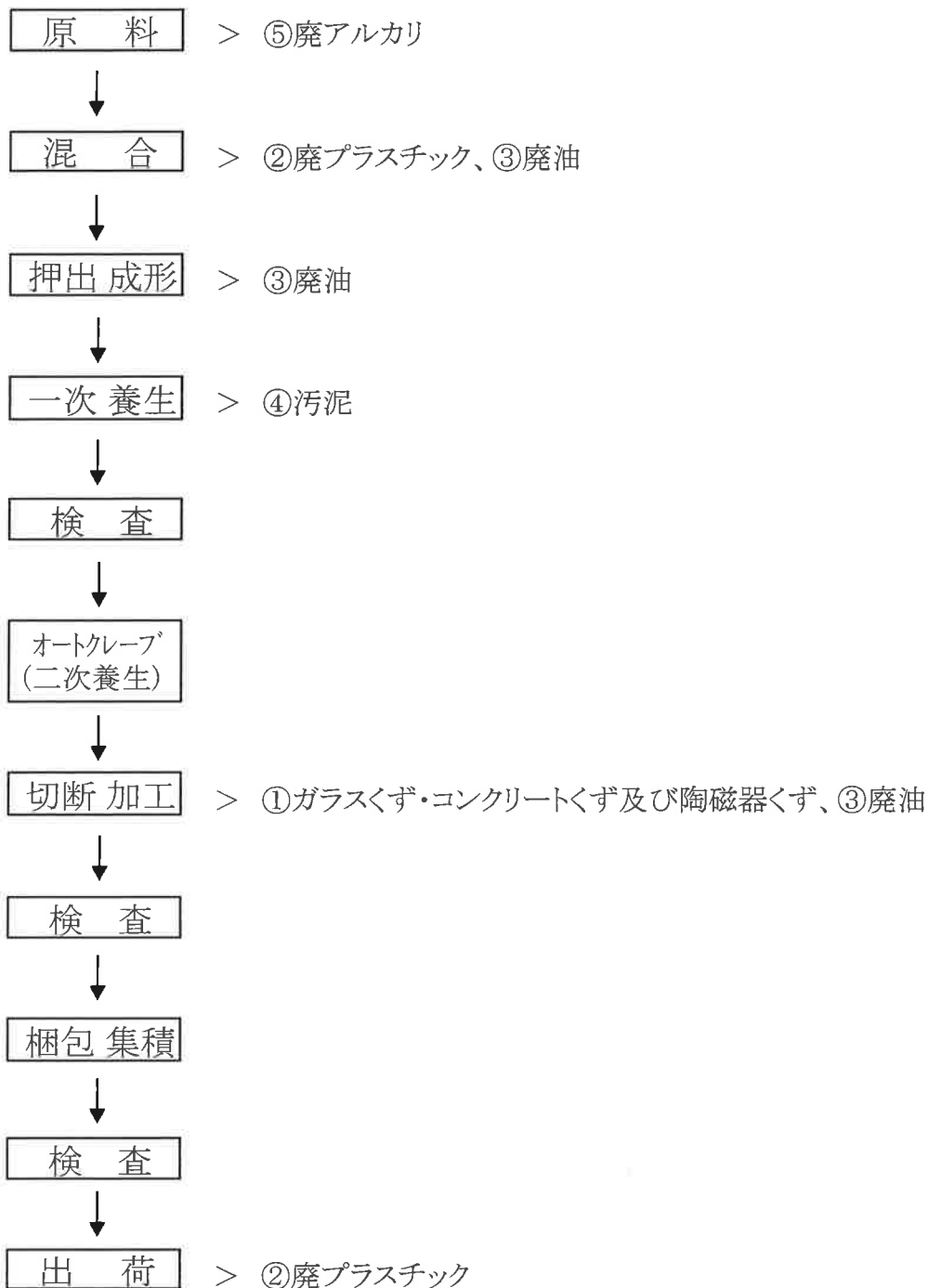
②計画	【目標】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t
(今後実施する予定の取組)				
<p>製品寸法に近い定尺の製造を行ない、端材を少なくする。 また、製造の配合を検討して、再生利用を増やし、産廃削減に努力する。</p> <p>廃プラスチックについては、再生利用業者により固形燃料として使用されているので、排出廃棄物のリサイクルを推進する。</p>				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行なっている事業に関する事項

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



①ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

収集運搬<委託: ㈱新宮クリーンランド>→埋立処分<委託: ㈱新宮クリーンランド>

収集運搬<委託: 優志建材>→破碎<委託: 加西砕石㈱>→再生砕石販売

収集運搬<委託: 中国開発㈱>→破碎<委託: 中国開発㈱>→再生砕石販売

収集運搬<委託: ㈱堀上運輸>→破碎<委託: 三幸開発㈱>→再生砕石販売

②廃プラスチック

収集運搬<委託: ㈱新宮クリーンランド>→破碎<委託: ㈱新宮クリーンランド>→RPF販売

収集運搬<委託: ㈱木村>→固形燃料化<委託: ㈱木村>→再資源化販売

③廃油

収集運搬<委託: 喜楽鋳業㈱>→油水・沈殿分離<委託: 喜楽鋳業㈱>→再生燃料販売

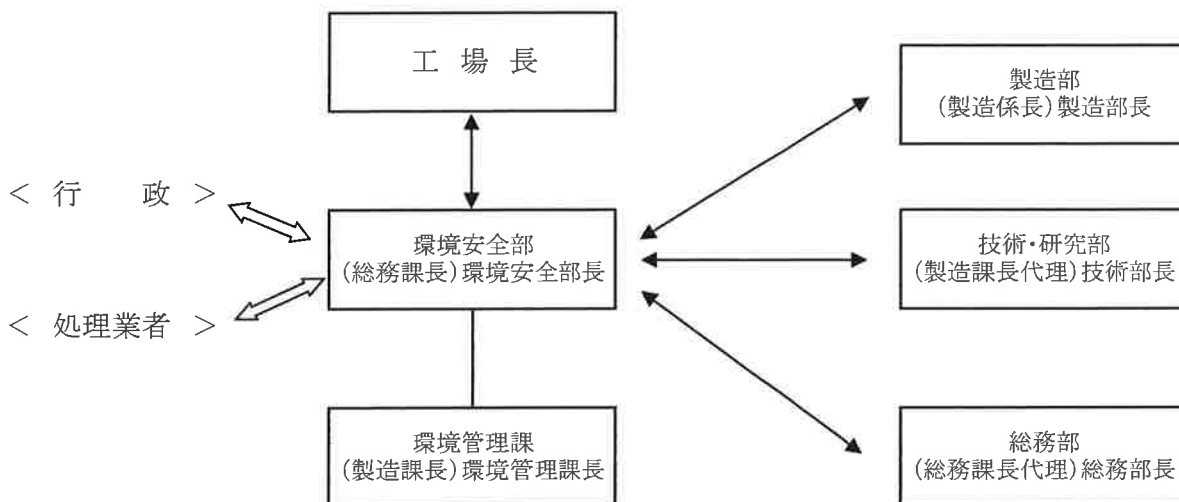
④汚泥

収集運搬<委託: 喜楽鋳業㈱>→沈殿分離<委託: 喜楽鋳業㈱>→焼却・ブロック再生販売

⑤廃アルカリ

収集運搬<委託: 喜楽鋳業㈱>→油水・沈殿分離<委託: 喜楽鋳業㈱>→再生燃料販売

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項
(管理体制図)



*分担

環境安全部(担当:環境管理課)

- ・工場内のマテリアルフローの把握、統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・工場内の廃棄物処理計画等の策定、部署間の調整、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引渡し、適正処理の確認
- ・工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督

製造部、技術・研究部、総務部(担当:全部署)

- ・部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
排出量	6,237t	74.9t	0.15t	0.34t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
排出量	6,000t	80t	5t	0t

自ら行なう産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(平成25年度)実績

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら再生利用を行なった量	2,347t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら再生利用を行なった量	2,300t	0t	0t	0t

自ら行なう産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(平成23年度)実績

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら熱回収を行なった量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら熱回収を行なった量	0t	0t	0t	0t
自ら中間処理により減量した量	0t	0t	0t	0t

自ら行なう産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(平成23年度) 実績

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0t	0t	0t	0t

○計画 目標

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0t	0t	0t	0t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○現状 前年度(平成25年度) 実績

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
全処理委託量	6,237t	86.17t	0.15t	0.34t
優良認定処理事業者への処理委託量	0t	0t	0t	
再生利用者への処理委託量	3,889.97t	11.27t	0.15t	0.34t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0t	0t	0t	

○計画 目標

産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	廃アルカリ
全処理委託量	6,000t	75t	5t	0t
優良認定処理事業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
再生利用者への処理委託量	3,700t	75t	5t	0t
認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t
認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t